

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

平成22年 12月号



ラムサールツアー（化女沼にて）

先月の活動報告

<宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター開館20周年記念>

伊豆沼・内沼生物多様性シンポジウム ジョイントイベント 11/21（日）



地図：2010 Google

伊豆沼・内沼

マガンの飛び立ちを観察するため、早朝、5時の集合にもかかわらずたくさんの方が参加したジョイントイベント。今回は、マイクロバスで宮城のラムサール湿地を巡るツアーを初めて企画しました。



マガンの飛び立ち

朝食風景



「お〜！！」

化女沼（けじょぬま）

最後に訪れたのが化女沼。ダムではオカヨシガモなどのカモ類、イタチなども見ることができました。



模型を使ったわかりやすい説明がありました。

蕪栗沼（かぶくりぬま）



解説員による説明 オオヒシクイ

朝食後、大崎市にある蕪栗沼へ移動。伊豆沼・内沼では少ないオオヒシクイを観察。マガンに比べ顔が黒く、クチバシの先端が黄色いのが特徴です。また、オジロワシも見ることができました。

お知らせ

<宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター開館 20 周年記念事業>

伊豆沼・内沼シンポジウム

開催日：平成 23 年 1 月 15 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 5 時

会場：エポカ 21（東北新幹線 くりこま高原駅となり）

参加費：無料

内容：講演「伊豆沼・内沼の生物多様性」

山形大学理学部 横山 潤氏

講演「北海道ラムサールネットワークと自然再生」

北海道宮島沼水鳥・湿地センター 牛山 克己氏

各種発表「ラムサール条約登録湿地（伊豆沼・内沼、蕪栗沼、
化女沼）およびその周辺での地域活性」



第 20 回 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

目的：伊豆沼・内沼の自然とそれにふれあう人々を題材として
伊豆沼・内沼の環境保全の重要性を啓発する。

主題：「伊豆沼・内沼の自然」「伊豆沼・内沼にかかわる人々」の
いずれかをとらえた作品。

応募期間：平成 22 年 12 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日

（郵送の場合 31 日の消印有効）

応募先：〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17 番地の 2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内写真展事務局

年末年始の開館のお知らせ

休館日：12 月 30 日、12 月 31 日

特別開館日：平成 23 年 1 月 1 日～
1 月 5 日

お問い合わせ・連絡先

（財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
Tel：0228-33-2216 Fax：0228-33-2217
e-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
〒989-5504
宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2